

mitsubishi

三菱電機融雪用温水ヒートポンプユニット部材

形名

MSC-006HT バックアップヒーター

据付工事説明書

販売店・工事店さま用








製品据付けのポイント

- 据付けの前に安全に関することを把握し、使用部材などの確保、および据付場所の確認をする。
- 据付には必ず下記別売部品を使用する。
 - ・防雪架台(MSC-002KD、MSC-003KD)
 - ・ヒーターフード(MSC-007HH)
- 据付けや配管・配線工事は正確で確実に実施する。
- 据付け後にはお客さまに引渡しできることを確認する。

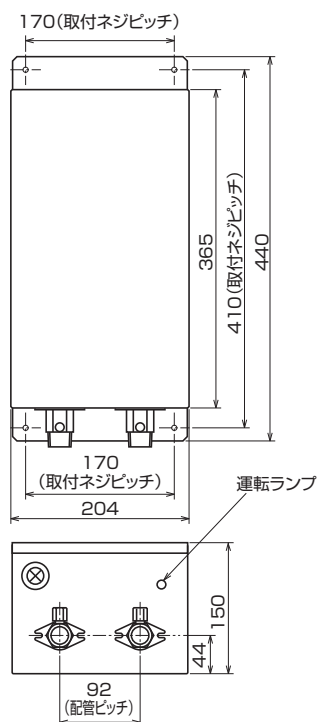
- 据付工事を始める前にこの据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付工事は販売店さま・工事店さまが実施してください。
 - 間違った工事は故障や事故の原因になります。
- バックアップヒーターは当社指定の別売部品のヒーターフードを使用し、別売部品の防雪架台に据付けてください。
 - ヒートポンプユニット・防雪架台・リモコン類の据付けについてはそれぞれの据付工事説明書に従ってください。

1. 安全のために必ず守ること

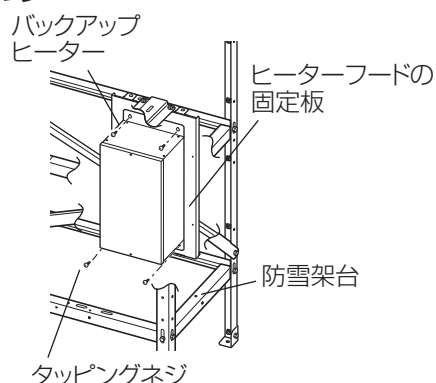
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。 ● 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所には据付けない 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発の原因。
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は単相200Vを使用する 電源を間違えると感電や火災の原因。 ● 据付けは、製品質量に十分耐えるところに確実に 強度の不十分なところに据付けるとユニットが転倒し、けがの原因。 ● 端子台接続部は、指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。 ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。 ● 据付工事部品は、当社付属部品および指定の部品を使用する 部品に不備があると火災・感電・ユニットの転倒によるけが・水漏れの原因。 ● 火災予防条例など法令の基準を守る 誤った工事は火災の原因。 ● 漏電しゃ断器を取付ける 取付けないと感電の原因。 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒーターフード以外には据付けない ほこり・湿気などの侵入により、漏電・火災の原因。 ● 前面パネルは確実に取付ける ほこり・湿気などの侵入により、漏電・火災の原因。 ● 据付後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。 ● 据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ● 配管工事は、据付工事説明書に従って確実に 工事に不備があると、ユニットから水が滴下して、汚損の原因。
 アース確認	<ul style="list-style-type: none"> ● アースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。 		

2.外形寸法図



3.据付け

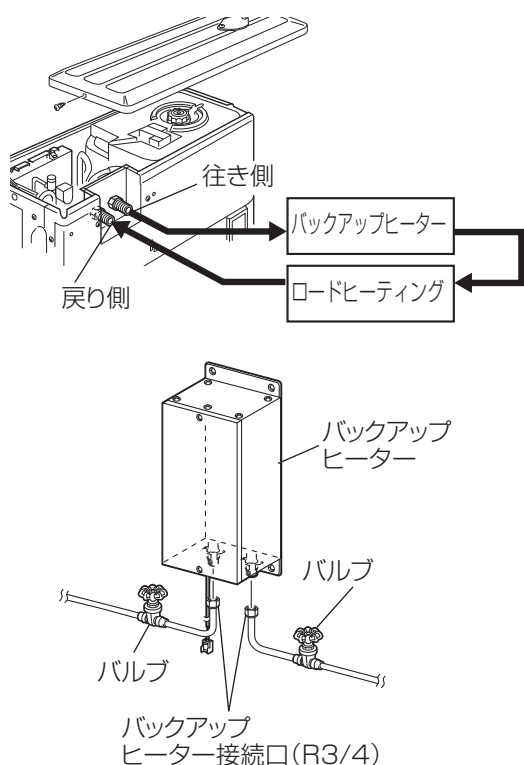


- 防雪架台への据付けには必ずヒーターフード(別売)を使用し、ヒーターフード付属のタッピングネジ4本で固定板へ固定する。

⚠ 警告

- 据付けは防雪架台の据付説明書に従って確実に指指定以外のところに据付けるとユニットが転倒し、けがの原因や、ほこり湿気の侵入により火災・漏電の原因になります。

1



水配管を接続する

本体の取外しができるようにユニオン継ぎ手、ナット付き銅管アダプターを使って接続する。(R3/4)

※バックアップヒーターの配管接続の向き(入口/出口)に規制はありませんがかならずヒートポンプユニット行き側とロードヒーティングの間に接続してください。

⚠ 警告

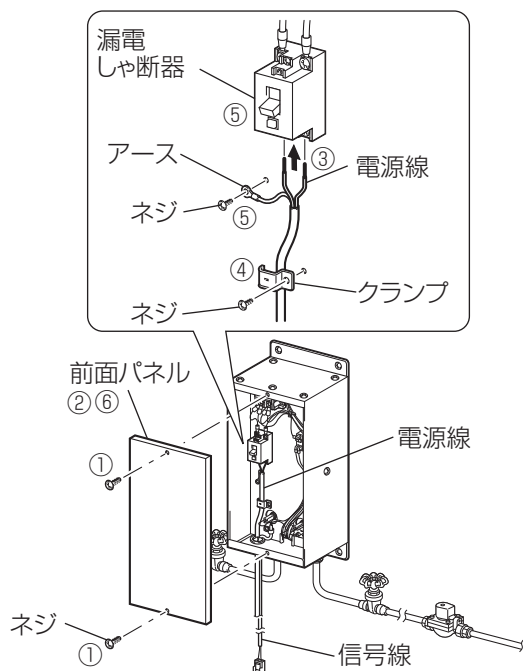
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する
部品に不備があると火災・感電・ユニットの転倒によるけが・水漏れの原因。

- ①ナット付銅管アダプターを配管接続口に差し込みナットを締付け固定する。
※ナットを締付けるときは必ず相手部品をスパナなどで固定して、ねじれなどがないように締付けること。
- ②配管にメンテナンス用バルブを設ける。
- ③配管・バルブを厚さ10mm以上の断熱材で断熱する。

2

3.据付け(つづき)

3



電気配線をする

- ① 前面パネルのネジ2本をはずす。
- ② 前面パネルをはずす。
- ③ 電源線を接続する。
 - 電源: 单相200V
 - 配線: VVFφ1.6(最大こう長14m)、または VVFφ2.0(最大こう長23m)
 - 漏電しゃ断器: 15A, 感度電流15mA
- ④ 電源線をクランプで固定する。
- ⑤ アース工事をする。
住宅より電源線と共に引出されているD種接地工事されたアース線を接続する。
 - 配線: 1Vφ2.0
 漏電しゃ断器をONにする。
- ⑥ 前面パネルを元通りに取付ける。

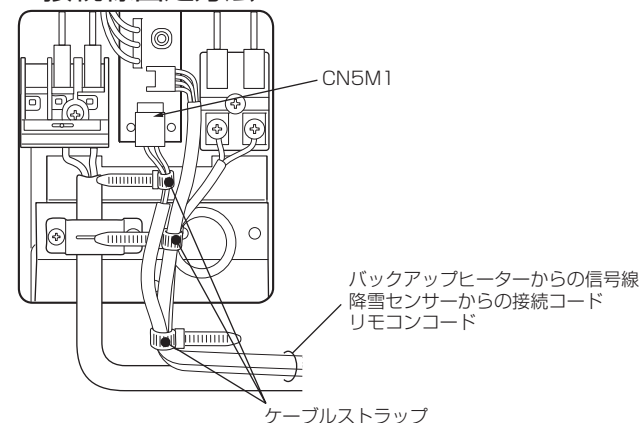
ヒートポンプユニットとの配線接続をする

● サービス時を考慮し、配線には余裕をもたせてください。

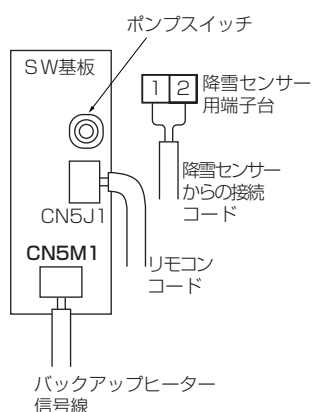
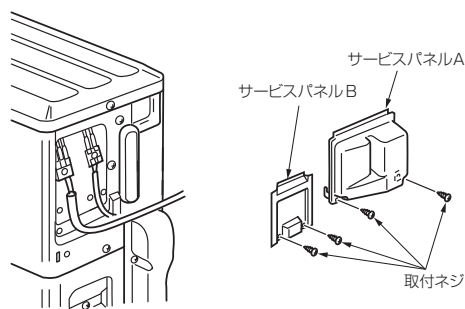
- ① ヒートポンプユニットのサービスパネルA、Bを外します。
- ② バックアップヒーターからの信号線をSW基板のコネクタCN5M1に差し込みます
- ③ 信号線はケーブルストラップで<接続線固定方法>のように固定してください。

※ コネクタ、端子台接続部に力がかからないように確実に固定してください。

<接続線固定方法>



4



4.水張り

- 水張りを行ってください。

詳しくはヒートポンプユニットの据付説明書をご覧ください。

5.試運転

- 試運転を行ってください。

ヒートポンプユニットを試運転し、バックアップヒーターの運転ランプが点灯していることを確認してください。ヒートポンプユニットの試運転についてはヒートポンプユニットの据付説明書をご覧ください。